

2024年度 受講生授業アンケートの集計結果について

調査活動WG長 後藤 力

<はじめに>

2024年度前期および後期に実施した受講生授業アンケートの結果についてご報告いたします。現在のアンケートは、2022年度にAssessorを用いた調査方法を導入して以降、2023年度にはマニュアルの微調整のみとなり、運用が安定してきたものと考えております。

今後は、この安定した運用を基盤に、学生の回答率向上と、回答内容の教育現場への有効活用が一層求められます。そのためには、教員の皆様からの建設的なご意見を積極的に取り入れ、共に改善に向けた取り組みを進めていくことが重要です。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートの実施は、教員と学生双方のご協力によって支えられております。授業時間を割いてご対応くださっている教員の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

<質問項目>

授業アンケートの質問項目は、学生自身の学修への取り組み（Q1とQ2）、教員の教育力（Q3～Q7）、そして教育の成果（Q8とQ9）を学生自身が自己評価できるように整理されています。2021年度以降は、自由記述を含めて10項目で構成されており、授業改善の視点を重視した内容としております。なお、自由記述（Q10）には2022年度より、誹謗・中傷などの不適切な記述に対する注意書きを追記しました。

表1 2024年度 受講生授業アンケートの質問項目と選択肢

Q1. 【学修時間】 あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか？ただし、この学修には教室等で授業を受けている時間や試験の準備に使った時間も含まれます。	Q6. 【フィードバック】 教員から、あなたの学修成果に対する適切な評価や指導はありましたか？
1 1.5時間（90分）未満 （例：教室でしか学修しておらず、授業外学修を全くしていない）	1 全くそう思わない （例：評価や指導が一切なく、どこを修正したらよいのか全く分からなかった）
2 1.5時間～2.5時間未満（例：授業90分＋授業外学修1時間弱）	2 あまりそう思わない
3 2.5時間～3.5時間未満（例：授業90分＋授業外学修2時間弱）	3 どちらかといえばそう思わない
4 3.5時間～4.5時間未満（例：授業90分＋授業外学修3時間弱）	4 どちらかといえばそう思う
5 4.5時間～5.5時間未満（例：授業90分＋授業外学修4時間弱）	5 そう思う
6 5.5時間以上（例：授業90分＋授業外学修4時間以上）	6 強くそう思う （例：適宜、適切な評価や指導があり、学修の改善に大いに役立った）
Q2. 【学修意欲】 あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に学修に取り組みましたか？	Q7. 【アクティブ・ラーニング】 グループワーク、討議、プレゼンテーション、ミニッツペーパーなどで、自分の考えや疑問を他者（教員や他の学生）に発信する機会がありましたか？（自身が発信した、発信しなかったではなく、教員からそのような機会が与えられていたかどうかで判断してください。）
1 とても消極的でほとんど学修しなかった	1 全くそう思わない （例：教員の話を一方向的に聴くだけの授業であった）
2 消極的であまり学修しなかった	2 あまりそう思わない
3 どちらかといえば消極的な学修態度であった	3 どちらかといえばそう思わない
4 どちらかといえば意欲的に学修に取り組んだ	4 どちらかといえばそう思う
5 意欲的に学修に取り組んだ	5 そう思う
6 非常に意欲的に学修に取り組んだ	6 強くそう思う （例：口頭や文章などで自分の意見を発信・表現する機会が多くあった）
Q3. 【聴覚情報】 教員の話し方（配信動画も含む）は明瞭で、聞き取りやすかったですか？	Q8. 【パフォーマンスの変化】 この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？
1 不明瞭で、全く聞き取れなかった	1 全くそう思わない（例：授業を受ける前と何も変わらなかった）
2 聞き取りにくかった	2 あまりそう思わない
3 どちらかといえば聞き取りにくかった	3 どちらかといえばそう思わない
4 どちらかといえば聞き取りやすかった	4 どちらかといえばそう思う
5 聞き取りやすかった	5 そう思う
6 明瞭で非常に聞き取りやすかった	6 強くそう思う（例：授業を受けて価値のある変化があった）
Q4. 【視覚情報】 板書、パワーポイント、配付資料、動画など、教員が独自に用意した視覚的な資料は分かりやすかったですか？	Q9. 【満足度】 総合的にみて、この授業に満足しましたか？
1 非常に分かりにくかった	1 全く満足していない
2 分かりにくかった	2 あまり満足していない
3 どちらかといえば分かりにくかった	3 どちらかといえば満足していない
4 どちらかといえば分かりやすかった	4 どちらかといえば満足した
5 分かりやすかった	5 満足した
6 とても分かりやすかった	6 非常に満足した
Q5. 【理解度の把握】 教員は、アンケート、小テスト、課題などを用いたり、質問を投げかけたりすることによって、学生の理解度を把握するように努めていましたか？	Q10. 【自由記述】 この授業で良かった点があれば具体的に記載してください。また、改善して欲しい点がある場合も具体的に記載してください。（自由記述、200字以内） ※授業改善の趣旨に反する、単なる教員への誹謗、中傷などを記述した場合には、個人を特定し情報モラル教育の視点により指導することがありますので十分注意してください。
1 全くそう思わない （例：教員は学生の理解度を考慮せず、一方向的に授業を進めていた）	
2 あまりそう思わない	
3 どちらかといえばそう思わない	
4 どちらかといえばそう思う	
5 そう思う	
6 強くそう思う	

Q7「アクティブ・ラーニング」に関しては、グループ討議や発表に偏った設問内容となっているのではないか、という意見がFD委員会内外から寄せられました。これを受け、2024年度に見直しを行い、2025年度からは以下の内容に改訂される予定です。このFD Newsletterが皆様のお手元に届く頃には、改訂後の設問に対する回答が既に集まっているものと思われます。

2025年度改善点

Q7. 【アクティブ・ラーニング】 次の①～⑤に例示したような取り組みのいずれかが、授業に組み込まれていましたか？ ①教員からの問いかけに基づき、授業の内容について深く考える。 ②授業の内容について質問する（ミニッツペーパー、リアクションペーパー、シャトルカードなども含む）。 ③教員や他の学生と議論する（グループワークなど）。 ④自ら調査を行う。 ⑤個人もしくはグループで作業を行い、成果物を作成する（レポートやプレゼンテーション作成など）。	1 全くそう思わない（例：教員の話を一方向的に聴くだけの授業であった） 2 あまりそう思わない 3 どちらかといえばそう思わない 4 どちらかといえばそう思う 5 そう思う 6 強くそう思う （例：思考／質問／議論／調査／作成などの機会が多くあった）
--	---

<回答者数および回収率>

現在、Assessmentor上で実施している受講生授業アンケートは、1科目につき1回の回答形式となっております。このため、共同開講やオムニバス形式など複数の教員が担当する授業では、授業全体としての評価となり、個々の教員に対する具体的な改善点が把握しにくいというご意見を度々頂いております。システムの仕様上、現時点での対応は難しいため、恐縮ではございますが、自由記述欄に教員名を明記の上、良かった点や改善してほしい点をご記入いただくよう、受講生の皆様にご協力をお願いしております。

次に、受講生授業アンケートの実施状況について、授業区分ごとの授業数、履修者数、回答数および回収率を表2-2に示します。

表2-2 アンケート実施科目数、回答数と回収率

		2024年度前期				2024年度後期			
		授業数	履修者数	回答者数	回収率	授業数	履修者数	回答者数	回収率
スタンダード・オプション科目	講義	58	4,845	2,773	57.2%	42	3,138	1,751	55.8%
	演習	132	5,312	3,317	62.4%	98	3,058	1,925	62.9%
	実験・実習	15	659	516	78.3%	8	325	212	65.2%
	小計	205	10,816	6,606	61.1%	148	6,521	3,888	59.6%
専門科目	講義	415	20,372	12,810	62.9%	331	17,560	11,566	65.9%
	演習	124	4,502	3,039	67.5%	138	4,899	2,404	49.1%
	実験・実習	92	3,615	1,880	52.0%	132	5,408	3,412	63.1%
	小計	631	28,489	17,729	62.2%	601	27,867	17,382	62.4%
教職科目	講義	11	329	129	39.2%	12	438	186	42.5%
	演習	0	-	-	-	1	30	23	76.7%
	実験・実習	0	-	-	-	1	30	21	70.0%
	小計	11	329	129	39.2%	14	498	230	46.2%
授業区分毎の合計	講義	484	25,546	15,712	61.5%	385	21,136	13,503	63.9%
	演習	256	9,814	6,356	64.8%	237	7,987	4,352	54.5%
	実験・実習	107	4,274	2,396	56.1%	141	5,763	3,645	63.2%
	合計	847	39,634	24,464	61.7%	763	34,886	21,500	61.6%

2020年度以降、アンケートはWEB形式で実施されており、回収率の維持・向上が継続的な課題となっています。2021年度からは、旧カリキュラム等による受講者数の少ない科目を除き、原則として全科目を対象にアンケートを実施する体制に移行しました。さらに、回収率を適切に把握するため、2023年度にはアンケートを実施しない科目を事前に調査し、履修者の少ない授業とともに学生が誤って回答しないよう、あらかじめ入力できない設定にするなどの対応を行いました。

2022年度のアンケート回収率は、前期68.8%、後期62.1%でしたが、2023年度は前期54.9%、後期59.6%とやや低下しました。これは、Assessmentorを用いた調査も2年目を迎えたことで教員および学生双方にシステム利用の「慣れ」が生じ、授業内でアンケート入力の時間を設けずに「後で入力しておいてください」との案内のみで授業を終了してしまい、結果として学生が入力を失念するケースが増えたことが一因と考えられます。

2024年度には、各学科の協力によるアナウンスの強化もあり、前期61.7%、後期61.6%と回収率は回復傾向を示しています。一方で、実験・実習科目においては引き続き回収率がやや低く、この要因としては、授業後すぐに着替えや移動が必要となるため、その場でアンケートを入力することが難しく、学生の自主入力に頼らざるを得ない状況と考えられます。

今後、回収率向上に向けては、以下の取り組みが効果的であると考えています：

- 1) FD委員会による「授業終了前アナウンスの徹底」
- 2) 各学科での「入力ルールの整備」
- 3) 各教員による「アンケート入力時間の事前確保」

1) については、すでにアナウンス用のメールを配信済みですが、その内容や送信時期については、今後さらに検討を重ねてまいります。2) および3) に関しては、教員および各学科のご理解とご協力が不可欠です。引き続き、アンケート回収率の向上に向けたご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<回答分布>

次に、表3～5に、授業区分ごとの設問内容およびそれに対する回答数を示します。これらのデータは延べ回答数に基づいて集計しているため、表2-2に示した履修者数に対する回収率とは一致しない点にご留意ください。

表3 講義科目の設問と回答数 <共通・専門・教職 (n = 15,712)> <共通・専門・教職 (n = 13,503)>

	設 問	2024年度前期							2024年度後期																		
		6	5	4	3	2	1	平均	6	5	4	3	2	1	平均												
		大変そう思う							まったくそう思わない							大変そう思う						まったくそう思わない					
		>5.5h	4.5-5.5h	3.5-4.5h	2.5-3.5h	1.5-2.5h	<1.5h		>5.5h	4.5-5.5h	3.5-4.5h	2.5-3.5h	1.5-2.5h	<1.5h													
1. 学生の 自己評価	Q 1.【学修時間】	457	482	1,002	2,674	7,020	4,067	2.25	537	507	960	2,469	6,102	2,922	2.38												
		2.9%	3.1%	6.4%	17.0%	44.7%	25.9%		4.0%	3.8%	7.1%	18.3%	45.2%	21.6%													
	Q 2.【学修意欲】	3,596	6,301	4,261	1,103	284	145	4.73	3,236	5,536	3,464	870	261	124	4.76												
	22.9%	40.1%	27.1%	7.0%	1.8%	0.9%	24.0%		41.0%	25.7%	6.4%	1.9%	0.9%														
2. 授業内容と 教員の評価	Q 3.【聴覚情報】	4,895	6,515	3,125	814	243	93	4.94	4,121	5,870	2,623	607	185	73	4.96												
		31.2%	41.5%	19.9%	5.2%	1.5%	0.6%		30.5%	43.5%	19.4%	4.5%	1.4%	0.5%													
	Q 4.【視覚情報】	5,029	6,409	3,126	801	235	90	4.95	4,192	5,859	2,606	564	180	92	4.97												
		32.0%	40.8%	19.9%	5.1%	1.5%	0.6%		31.0%	43.4%	19.3%	4.2%	1.3%	0.7%													
	Q 5.【理解度の把握】	4,729	6,526	3,356	647	275	159	4.91	4,077	5,866	2,696	498	235	119	4.94												
		30.1%	41.5%	21.4%	4.1%	1.8%	1.0%		30.2%	43.4%	20.0%	3.7%	1.7%	0.9%													
	Q 6.【フィードバック】	4,067	6,024	3,820	969	559	252	4.72	3,588	5,658	3,038	666	388	157	4.81												
25.9%		38.3%	24.3%	6.2%	3.6%	1.6%	26.6%		41.9%	22.5%	4.9%	2.9%	1.2%														
3. 総合評価	Q 7.【アクティブ・ラーニング】	3,935	5,604	3,517	1,207	727	712	4.55	3,305	5,241	2,958	947	576	467	4.62												
		25.0%	35.7%	22.4%	7.7%	4.6%	4.5%		24.5%	38.8%	21.9%	7.0%	4.3%	3.5%													
	Q 8.【パフォーマンスの変化】	5,004	6,929	3,108	394	159	85	5.02	4,218	6,308	2,435	336	117	72	5.03												
	31.8%	44.1%	19.8%	2.5%	1.0%	0.5%	31.2%		46.7%	18.0%	2.5%	0.9%	0.5%														
Q 9.【満足度】	5,005	6,837	3,069	499	196	85	5.00	4,222	6,165	2,503	374	146	82	5.02													
	31.9%	43.5%	19.5%	3.2%	1.2%	0.5%		31.3%	45.7%	18.5%	2.8%	1.1%	0.6%														

表4 演習科目の設問と回答数 <共通・専門・教職 (n = 6,356)> <共通・専門・教職 (n = 4,352)>

	設 問	2024年度前期						平均	2024年度後期						平均
		6	5	4	3	2	1		6	5	4	3	2	1	
		大変そう思う			まったくそう思わない				大変そう思う			まったくそう思わない			
		>5.5h	4.5-5.5h	3.5-4.5h	2.5-3.5h	1.5-2.5h	<1.5h		>5.5h	4.5-5.5h	3.5-4.5h	2.5-3.5h	1.5-2.5h	<1.5h	
1. 学生の 自己評価	Q 1.【学修時間】	218	185	483	1,175	2,646	1,644	2.30	270	192	362	721	1,763	1,043	2.47
		3.4%	2.9%	7.6%	18.5%	41.6%	25.9%	6.2%	4.4%	8.3%	16.6%	40.5%	24.0%		
2. 授業内容と 教員の評価	Q 2.【学修意欲】	1,661	2,446	1,657	402	117	67	4.78	1,240	1,816	949	236	65	44	4.87
		26.1%	38.5%	26.1%	6.3%	1.8%	1.1%		28.5%	41.7%	21.8%	5.4%	1.5%	1.0%	
	Q 3.【聴覚情報】	1,881	2,625	1,332	330	135	44	4.89	1,436	1,960	745	129	48	25	5.04
		29.6%	41.3%	21.0%	5.2%	2.1%	0.7%		33.0%	45.0%	17.1%	3.0%	1.1%	0.6%	
	Q 4.【視覚情報】	1,851	2,644	1,378	312	115	46	4.89	1,415	1,939	760	155	48	33	5.02
		29.1%	41.6%	21.7%	4.9%	1.8%	0.7%		32.5%	44.6%	17.5%	3.6%	1.1%	0.8%	
	Q 5.【理解度の把握】	1,894	2,650	1,371	254	114	62	4.91	1,444	1,926	730	135	74	40	5.01
		29.8%	41.7%	21.6%	4.0%	1.8%	1.0%		33.2%	44.3%	16.8%	3.1%	1.7%	0.9%	
Q 6.【フィードバック】	1,679	2,532	1,554	332	166	82	4.78	1,356	1,865	870	147	70	40	4.96	
	26.4%	39.8%	24.4%	5.2%	2.6%	1.3%		31.2%	42.9%	20.0%	3.4%	1.6%	0.9%		
3. 総合評価	Q 7.【アクティブ・ラーニング】	1,888	2,412	1,330	351	193	173	4.78	1,415	1,851	780	158	94	52	4.96
		29.7%	37.9%	20.9%	5.5%	3.0%	2.7%		32.5%	42.5%	17.9%	3.6%	2.2%	1.2%	
	Q 8.【パフォーマンスの変化】	2,021	2,707	1,329	179	72	40	4.99	1,434	2,023	697	110	46	33	5.06
		31.8%	42.6%	20.9%	2.8%	1.1%	0.6%		33.0%	46.5%	16.0%	2.5%	1.1%	0.8%	
	Q 9.【満足度】	1,979	2,693	1,311	238	89	40	4.96	1,443	1,985	719	112	59	29	5.05
		31.1%	42.4%	20.6%	3.7%	1.4%	0.6%		33.2%	45.6%	16.5%	2.6%	1.4%	0.7%	

表5 実験・実習科目の設問と回答数 <共通・専門・教職 (n = 2,396)> <共通・専門・教職 (n = 3,645)>

	設 問	2024年度前期						平均	2024年度後期						平均
		6	5	4	3	2	1		6	5	4	3	2	1	
		大変そう思う			まったくそう思わない				大変そう思う			まったくそう思わない			
		>5.5h	4.5-5.5h	3.5-4.5h	2.5-3.5h	1.5-2.5h	<1.5h		>5.5h	4.5-5.5h	3.5-4.5h	2.5-3.5h	1.5-2.5h	<1.5h	
1. 学生の 自己評価	Q 1.【学修時間】	140	103	242	441	780	688	2.46	479	258	475	763	1,050	618	3.04
		5.8%	4.3%	10.1%	18.4%	32.6%	28.7%		13.1%	7.1%	13.0%	20.9%	28.8%	17.0%	
	Q 2.【学修意欲】	980	997	300	75	18	21	5.16	1,478	1,492	523	106	19	24	5.16
		40.9%	41.6%	12.5%	3.1%	0.8%	0.9%		40.5%	40.9%	14.3%	2.9%	0.5%	0.7%	
	Q 3.【聴覚情報】	979	1,008	306	70	18	9	5.19	1,429	1,560	497	119	25	12	5.16
		40.9%	42.1%	12.8%	2.9%	0.8%	0.4%		39.2%	42.8%	13.6%	3.3%	0.7%	0.3%	
	Q 4.【視覚情報】	936	1,016	361	50	18	13	5.15	1,391	1,530	567	111	25	15	5.13
		39.1%	42.4%	15.1%	2.1%	0.8%	0.5%		38.2%	42.0%	15.6%	3.0%	0.7%	0.4%	
2. 授業内容と 教員の評価	Q 5.【理解度の把握】	929	1,007	367	48	26	17	5.13	1,430	1,530	535	79	44	23	5.14
		38.8%	42.0%	15.3%	2.0%	1.1%	0.7%		39.2%	42.0%	14.7%	2.2%	1.2%	0.6%	
	Q 6.【フィードバック】	938	1,000	360	55	27	14	5.14	1,457	1,486	544	96	40	19	5.14
		39.1%	41.7%	15.0%	2.3%	1.1%	0.6%		40.0%	40.8%	14.9%	2.6%	1.1%	0.5%	
	Q 7.【アクティブ・ラーニング】	938	977	348	75	40	15	5.11	1,446	1,510	539	83	36	26	5.15
		39.1%	40.8%	14.5%	3.1%	1.7%	0.6%		39.7%	41.4%	14.8%	2.3%	1.0%	0.7%	
	Q 8.【パフォーマンスの変化】	1,066	1,030	260	16	10	6	5.30	1,629	1,512	426	48	19	8	5.28
		44.5%	43.0%	10.9%	0.7%	0.4%	0.3%		44.7%	41.5%	11.7%	1.3%	0.5%	0.2%	
3. 総合評価	Q 9.【満足度】	1,071	995	286	25	9	6	5.29	1,578	1,524	448	68	17	8	5.25
		44.7%	41.5%	11.9%	1.0%	0.4%	0.3%		43.3%	41.8%	12.3%	1.9%	0.5%	0.2%	

授業区分別に設問ごとの回答傾向を分析すると、実験・実習科目はもともと参加型の授業であることから、Q 7（アクティブ・ラーニング）の得点が高いのは例年通りの結果であり、自然な傾向と言えます。加えて、Q 2（学修意欲）においても、講義・演習科目より高い傾向が見られ、学生が実際に手を動かしながら能動的に学修に取り組んでいる様子がうかがえます。

また、教員が学生一人ひとりに目を配り、適切なフィードバックを行っていることが想像される点からも、Q 5（理解度の把握）やQ 6（フィードバックの有無）においても高い評価が得られています。こうした要素が相まって、Q 8（パフォーマンスの変化）およびQ 9（授業全体の満足度）についても、講義・演習科目と比較して高い傾向が見られました。

このような結果は例年と同様の傾向を示しており、本学の教育における特色の一つと位置づけることができます。

<アンケート結果の経年変化>

次に過去5年間のアンケート結果の経年変化を、授業区分毎に表6～8でお示しします。

表6 講義科目における全体平均値の推移（過去5年間分）

設問概要	2024前期 (n=15,712)	2024後期 (n=13,503)	2023	2023前期 (n=15,259)	2023後期 (n=13,712)	2022	2022前期 (n=19,757)	2022後期 (n=15,026)	2021	2021前期 (n=13,952)	2021後期 (n=12,009)	2020	2020前期 (n=5,867)	2020後期 (n=4,973)
Q 1.【学修時間】	2.25	2.38	Q 1	2.28	2.38	Q 1	2.27	2.39	Q 1	2.20	2.30	Q 1	2.74	2.61
Q 2.【学修意欲】	4.73	4.76	Q 2	4.68	4.76	Q 2	4.61	4.68	Q 2	4.50	4.62	Q 2	4.35	4.62
Q 3.【聴覚情報】	4.94	4.96	Q 3	4.89	4.95	Q 3	4.82	4.89	Q 3	4.93	5.00	Q 3	4.39	4.50
Q 4.【視覚情報】	4.95	4.97	Q 4	4.90	4.93	Q 4	4.80	4.87	Q 4	4.67	4.73	Q 3		
Q 5.【理解度の把握】	4.91	4.94	Q 5	4.86	4.93	Q 5	4.78	4.87	Q 5	4.67	4.77	-	-	-
Q 6.【フィードバック】	4.72	4.81	Q 6	4.67	4.79	Q 6	4.54	4.71	Q 6	4.39	4.54	-	-	-
Q 7.【アクティブ・ラーニング】	4.55	4.62	Q 7	4.50	4.67	Q 7	4.31	4.50	Q 7	4.30	4.44	-	-	-
Q 8.【パフォーマンスの変化】	5.02	5.03	Q 8	4.97	5.01	Q 8	4.88	4.94	Q 8	4.88	4.94	Q 4	4.69	4.72
Q 9.【満足度】	5.00	5.02	Q 9	4.95	4.99	Q 9	4.87	4.92	Q 9	4.81	4.88	Q 5	4.86	4.83

表7 演習科目における全体平均値の推移（過去5年間分）

設問概要	2024前期 (n=6,356)	2024後期 (n=4,352)	2023	2023前期 (n=4,874)	2023後期 (n=4,880)	2022	2022前期 (n=7,093)	2022後期 (n=5,570)	2021	2021前期 (n=5,445)	2021後期 (n=3,338)	2020	2020前期 (n=849)	2020後期 (n=912)
Q 1.【学修時間】	2.30	2.47	Q 1	2.37	2.36	Q 1	2.33	2.43	Q 1	2.26	2.47	Q 1	3.69	3.03
Q 2.【学修意欲】	4.78	4.87	Q 2	4.71	4.82	Q 2	4.69	4.76	Q 2	4.55	4.69	Q 2	4.26	4.92
Q 3.【聴覚情報】	4.89	5.04	Q 3	4.96	5.01	Q 3	4.90	4.94	Q 3	4.98	5.07	Q 3	4.60	4.90
Q 4.【視覚情報】	4.89	5.02	Q 4	4.96	5.00	Q 4	4.88	4.92	Q 4	4.70	4.78	Q 3		
Q 5.【理解度の把握】	4.91	5.01	Q 5	4.95	4.98	Q 5	4.88	4.92	Q 5	4.71	4.83	-	-	-
Q 6.【フィードバック】	4.78	4.96	Q 6	4.82	4.92	Q 6	4.75	4.84	Q 6	4.59	4.72	-	-	-
Q 7.【アクティブ・ラーニング】	4.78	4.96	Q 7	4.83	4.86	Q 7	4.67	4.79	Q 7	4.39	4.64	-	-	-
Q 8.【パフォーマンスの変化】	4.99	5.06	Q 8	5.00	5.03	Q 8	4.93	4.96	Q 8	4.83	4.96	Q 4	4.84	5.00
Q 9.【満足度】	4.96	5.05	Q 9	4.98	5.01	Q 9	4.93	4.94	Q 9	4.81	4.90	Q 5	5.04	5.19

表8 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去5年間分）

設問概要	2024前期 (n=2,396)	2024後期 (n=3,645)	2023	2023前期 (n=2,344)	2023後期 (n=3,604)	2022	2022前期 (n=3,020)	2022後期 (n=3,850)	2021	2021前期 (n=2,712)	2021後期 (n=2,840)	2020	2020前期 (n=240)	2020後期 (n=261)
Q 1.【学修時間】	2.46	3.04	Q 1	2.38	3.08	Q 1	2.54	3.14	Q 1	2.67	3.33	Q 1	3.61	3.00
Q 2.【学修意欲】	5.16	5.16	Q 2	5.13	5.14	Q 2	5.08	5.12	Q 2	4.95	5.05	Q 2	5.30	5.06
Q 3.【聴覚情報】	5.19	5.16	Q 3	5.10	5.16	Q 3	5.05	5.07	Q 3	5.14	5.27	Q 3	4.71	4.87
Q 4.【視覚情報】	5.15	5.13	Q 4	5.09	5.12	Q 4	4.99	5.03	Q 4	4.92	4.97	Q 3	-	-
Q 5.【理解度の把握】	5.13	5.14	Q 5	5.06	5.13	Q 5	4.96	5.07	Q 5	4.89	5.04	-	-	-
Q 6.【フィードバック】	5.14	5.14	Q 6	5.08	5.13	Q 6	5.00	5.06	Q 6	4.93	5.10	-	-	-
Q 7.【アクティブ・ラーニング】	5.11	5.15	Q 7	5.02	5.13	Q 7	4.88	5.08	Q 7	4.78	5.07	-	-	-
Q 8.【パフォーマンスの変化】	5.30	5.28	Q 8	5.24	5.26	Q 8	5.21	5.18	Q 8	5.11	5.26	Q 4	5.40	5.19
Q 9.【満足度】	5.29	5.25	Q 9	5.23	5.21	Q 9	5.19	5.14	Q 9	5.11	5.17	Q 5	5.50	5.31

この数年間の推移をみると、特に講義科目においては、Q 2（学修意欲）およびQ 9（満足度）の向上が顕著であり、Q 3（聴覚情報）、Q 4（視覚情報）に関しても改善傾向が見られます。これらの変化は、教員による教材の工夫や授業方法の改善、さらには対面授業の再開などが影響していると考えられます。加えて、Q 5（理解度の把握）やQ 6（フィードバック）も年々改善が見られ、Q 7（アクティブ・ラーニング）を含めた総合的な授業改善が進んでいることがうかがえます。

これらの項目がさらに向上することで、学生主体の学びの定着にもつながることが期待されます。

一方で、演習・実験科目については大きな変動は見られないものの、常に安定して高い評価を維持しており、実践的な授業の重要性と教育効果の高さが再確認された結果と捉えることができます。

<学修時間>

次に、過去5年間における学修時間の推定値の推移を、表9に示します。学修時間に関する設問は、2020年度は遠隔授業が実施されたため、トータルの学修時間を回答してもらっており、回答1：0.5時間、2：1.5時間、3：2.5時間、4：3.5時間、5：4.5時間、6：5.5時間と仮定しております。

2021年度からは対面と遠隔が併用された授業が実施されたため、トータルの学修時間を回答してもらっており、回答1：1時間、2：2時間、3：3時間、4：4時間、5：5時間、6：6時間として学修時間を推定しました。

表9 学修時間の推定値（単位：時間、過去5年間）

	2024前期	2024後期	2023前期	2023後期	2022前期	2022後期	2021前期	2021後期	2020前期	2020後期
	トータル（授業時間を含む）									
講義	2.25	2.38	2.28	2.38	2.27	2.39	2.20	2.30	2.24	2.11
演習	2.30	2.47	2.37	2.36	2.33	2.43	2.26	2.47	3.19	2.53
実験・実習	2.46	3.04	2.38	3.08	2.54	3.14	2.67	3.33	3.11	2.50

これらの推定値を基にすると、講義科目における学修時間は2020年度以降、大きな変化は見られませんが、演習・実験科目では若干の増減を繰り返しながら、緩やかな減少傾向が見られます。

続いて、アンケートQ 1で「選択肢1（1.5時間未満（例：教室でしか学修しておらず、授業外学修を全くしていない））」と回答した学生、および「選択肢2（1.5時間～2.5時間未満（例：授業90分＋授業外学修1時間弱））」と回答した学生の割合の推移を、表10に示します。

表10 授業外学修が1時間未満の学生の割合（過去5年間）

	授業外学修	2024前期	2024後期	2023前期	2023後期	2022前期	2022後期	2021前期	2021後期	2020前期	2020後期
講義	0 h	25.9%	21.6%	24.1%	23.2%	23.4%	19.6%	21.1%	17.9%	10.6%	12.3%
	0-1 h	44.7%	45.2%	45.3%	42.6%	46.5%	46.9%	52.1%	52.3%	41.0%	41.7%
演習	0 h	25.9%	24.0%	22.6%	26.3%	22.5%	23.6%	22.4%	15.2%	8.0%	9.2%
	0-1 h	41.6%	40.5%	43.9%	40.6%	45.0%	40.3%	46.9%	47.5%	22.7%	32.0%
実験・実習	0 h	28.7%	17.0%	30.2%	16.2%	27.1%	12.9%	24.7%	10.2%	2.9%	11.9%
	0-1 h	32.6%	28.8%	33.9%	27.7%	31.8%	28.9%	33.0%	28.9%	18.8%	33.7%

「授業外ではまったく学修していない（選択肢1）」と回答した学生の割合は、講義・演習・実験のいずれにおいても25%前後で推移しており、近年やや増加傾向が見受けられます。これは、大学の単位制度に照らしても、単位取得に必要な学修時間に達していない可能性が高い状況であり、懸念されます。

一方、「授業外学修が1時間未満（選択肢2）」と回答した学生の割合は、講義科目ではおおよそ45%前後、実験科目では30%前後で推移しています。実験科目においてこの数値が低いのは、実験後のレポート作成など、授業外に課される課題があることが要因と考えられます。ただし、「選択肢1」の割合が講義と大差ないことから、すべての学生がこうした課題に適切に取り組んでいるわけではないことも示唆されます。

大学の単位制度では、1単位あたり約45時間の学修時間が必要とされており、たとえば1単位の授業であれば90分の授業を15回行い、それに加えて毎週1時間程度の自己学修が求められます。したがって、「選択肢2」の割合が高いことは、1単位の授業では一定の妥当性があると言えます。しかし、2単位科目では週4時間程度の自己学修が必要であり、同じ水準の学修時間では明らかに不足しています。単位数に応じた授業外学修の必要性について、今一度認識を深める必要があると考えています。

授業外の学修時間が不十分である背景には、学生自身の学修への取り組み姿勢に課題があることは否めません。とはいえ、教員側としてもそうした実態を踏まえたうえで、授業外学修への動機づけや工夫を講じる必要があります。さらに、学生が単位数と学修時間の関係を十分に理解していない可能性も考えられるため、ガイダンスに加えて、授業の初回などの場面でも、単位制度や自己学修の重要性について繰り返し説明することが重要であると考えています。

<総合評価と学修態度および教授技量の関係>

総合評価Q 8（パフォーマンスの変化）、Q 9（満足度）と、学生の学修態度（Q 1・Q 2）および教員の教授技量（Q 3～Q 7）との関連性について、以下に示します。なお、実験・実習科目ではQ 8・Q 9の得点が低い学生数が少なく、統計的な比較が難しいため、ここではすべての授業区分を統合した結果を示しております。

表11 総合評価（パフォーマンスの変化）と学生の学修態度および教授技量の関係（2024年度前期）

	計		6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差	
			大変そう思う		まったくそう思わない						
Q8(6・5) パフォーマンスの 変化が大きい群	18,744	Q1.【学修時間】	740 3.9%	679 3.6%	1,402 7.5%	3,491 18.6%	8,098 43.2%	4,334 23.1%	2.37		
		Q2.【学修意欲】	6,053 32.3%	8,707 46.5%	3,205 17.1%	522 2.8%	162 0.9%	86 0.5%	5.05		
		Q3.【聴覚情報】	7,481 39.9%	8,773 46.8%	1,969 10.5%	372 2.0%	113 0.6%	30 0.2%	5.23		
		Q4.【視覚情報】	7,552 40.3%	8,763 46.8%	1,971 10.5%	339 1.8%	93 0.5%	26 0.1%	5.24		
		Q5.【理解度の把握】	7,315 39.0%	8,958 47.8%	1,992 10.6%	289 1.5%	126 0.7%	54 0.3%	5.22		
		Q6.【フィードバック】	6,548 0.0%	8,686 0.0%	2,533 0.0%	550 0.0%	315 0.0%	110 0.0%	5.08		
		Q7.【アクティブラーニング】	6,570 35.0%	8,231 43.9%	2,240 11.9%	780 4.2%	478 2.5%	448 2.4%	4.98		
Q8(4・3)	5,284	Q1.【学修時間】	66 1.2%	85 1.6%	320 6.1%	766 14.5%	2,217 42.0%	1,830 34.6%	2.02	-0.35	
		Q2.【学修意欲】	160 3.0%	980 18.6%	2,926 55.4%	959 18.2%	189 3.6%	64 1.2%	3.96	-1.10	
		Q3.【聴覚情報】	241 4.6%	1,319 25.0%	2,711 51.5%	770 14.6%	190 3.6%	36 0.7%	4.10	-1.13	
		Q4.【視覚情報】	243 0.0%	1,251 0.0%	2,822 0.0%	749 0.0%	173 0.0%	31 0.0%	4.10	-1.14	
		Q5.【理解度の把握】	217 4.1%	1,166 22.1%	3,028 57.3%	604 11.4%	199 3.8%	66 1.3%	4.08	-1.15	
		Q6.【フィードバック】	118 2.2%	824 15.6%	3,145 59.7%	751 14.2%	322 6.1%	111 2.1%	3.87	-1.21	
		Q7.【アクティブラーニング】	166 3.1%	732 13.9%	2,906 55.1%	800 15.2%	384 7.3%	290 5.5%	3.74	-1.24	
Q8(2・1) パフォーマンスの 変化が小さい群	371	Q1.【学修時間】	9 2.4%	3 0.8%	3 0.8%	26 7.0%	109 29.4%	221 59.6%	1.61	-0.76	
		Q2.【学修意欲】	17 0.0%	40 0.0%	80 0.0%	86 0.0%	68 0.0%	81 0.0%	2.95	-2.10	
		Q3.【聴覚情報】	20 5.4%	39 10.5%	72 19.4%	69 18.6%	91 24.5%	80 21.6%	2.89	-2.34	
		Q4.【視覚情報】	10 2.7%	34 9.1%	63 16.9%	73 19.6%	101 27.2%	91 24.5%	2.67	-2.57	
		Q5.【理解度の把握】	11 3.0%	39 10.5%	62 16.7%	54 14.5%	88 23.7%	118 31.7%	2.59	-2.63	
		Q6.【フィードバック】	10 2.7%	24 6.5%	45 12.1%	53 14.2%	113 30.4%	127 34.1%	2.34	-2.74	
		Q7.【アクティブラーニング】	15 4.0%	35 4.0%	49 9.4%	98 13.2%	98 26.3%	160 43.0%	2.17	-2.80	

表13 総合評価（パフォーマンスの変化）と学生の学修態度および教授技量の関係（2024年度後期）

	計		6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差
			大変そう思う			まったくそう思わない				
Q8(6・5) パフォーマンスの変化が大きい群	17,118	Q1.【学修時間】	1,187 6.9%	847 4.9%	1,474 8.6%	3,199 18.7%	7,230 42.2%	3,181 18.6%	2.60	
		Q2.【学修意欲】	5,794 33.9%	8,099 47.3%	2,600 15.2%	450 2.6%	107 0.6%	62 0.4%	5.10	
		Q3.【聴覚情報】	6,774 39.6%	8,385 49.0%	1,612 9.4%	239 1.4%	70 0.4%	19 0.1%	5.26	
		Q4.【視覚情報】	6,818 39.8%	8,402 49.1%	1,626 9.5%	183 1.1%	62 0.4%	21 0.1%	5.27	
		Q5.【理解度の把握】	6,780 39.6%	8,414 49.2%	1,531 8.9%	220 1.3%	130 0.8%	40 0.2%	5.25	
		Q6.【フィードバック】	6,280 36.7%	8,328 48.7%	1,946 11.4%	310 1.8%	212 1.2%	40 0.2%	5.17	
		Q7.【アクティブラーニング】	6,067 35.4%	8,007 46.8%	1,898 11.1%	556 3.2%	343 2.0%	246 1.4%	5.06	
Q8(4・3)	4,049	Q1.【学修時間】	84 2.1%	97 2.4%	307 7.6%	714 17.6%	1,600 39.5%	1,247 30.8%	2.17	-0.42
		Q2.【学修意欲】	140 3.5%	698 17.2%	2,283 56.4%	692 17.1%	178 4.4%	58 1.4%	3.94	-1.16
		Q3.【聴覚情報】	195 4.8%	960 23.8%	2,198 54.4%	537 13.3%	126 3.1%	26 0.6%	4.12	-1.14
		Q4.【視覚情報】	169 4.2%	894 22.1%	2,260 55.8%	572 14.1%	124 3.1%	28 0.7%	4.08	-1.19
		Q5.【理解度の把握】	159 3.9%	873 21.6%	2,373 58.7%	440 10.9%	147 3.6%	54 1.3%	4.07	-1.18
		Q6.【フィードバック】	113 2.8%	649 16.0%	2,465 60.9%	564 13.9%	193 4.8%	63 1.6%	3.93	-1.24
		Q7.【アクティブラーニング】	87 2.1%	565 14.0%	2,347 58.0%	602 14.9%	269 6.6%	178 4.4%	3.77	-1.29
Q8(2・1) パフォーマンスの変化が小さい群	295	Q1.【学修時間】	11 3.7%	11 3.7%	13 4.4%	38 12.9%	73 24.7%	149 50.5%	1.97	-0.63
		Q2.【学修意欲】	15 5.1%	37 12.5%	45 15.3%	68 23.1%	58 19.7%	72 24.4%	2.87	-2.23
		Q3.【聴覚情報】	10 3.4%	36 12.2%	48 16.3%	74 25.1%	62 21.0%	65 22.0%	2.86	-2.40
		Q4.【視覚情報】	7 2.4%	19 6.4%	38 12.9%	73 24.7%	67 22.7%	91 30.8%	2.48	-2.78
		Q5.【理解度の把握】	8 2.7%	23 7.8%	49 16.7%	50 17.0%	76 25.9%	88 29.9%	2.55	-2.70
		Q6.【フィードバック】	4 1.4%	20 6.8%	34 11.5%	32 10.8%	93 31.5%	112 38.0%	2.22	-2.95
		Q7.【アクティブラーニング】	8 2.7%	19 6.5%	26 8.9%	27 9.2%	93 31.7%	120 41.0%	2.16	-2.90

表12 総合評価（満足度）と学生の学修態度および教授技量の関係（2024年度前期）

	計		6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差	
			大変そう思う			まったくそう思わない					
Q9(6・5)	満足度の高い群	18,564	Q1.【学修時間】	4,354 23.5%	8,095 43.6%	3,392 18.3%	1,352 7.3%	647 3.5%	724 3.9%	2.35	
			Q2.【学修意欲】	89 0.5%	159 0.9%	505 2.7%	3,202 17.3%	8,611 46.4%	5,996 32.3%	5.05	
			Q3.【聴覚情報】	25 0.1%	54 0.3%	268 1.4%	1,862 10.0%	8,805 47.4%	7,544 40.7%	5.26	
			Q4.【視覚情報】	21 0.1%	38 0.2%	219 1.2%	1,820 9.8%	8,850 47.7%	7,619 41.0%	5.28	
			Q5.【理解度の把握】	43 0.2%	97 0.5%	242 1.3%	1,998 10.8%	8,875 47.8%	7,303 39.4%	5.23	
			Q6.【フィードバック】	90 0.5%	269 1.4%	476 2.6%	2,599 14.0%	8,600 46.3%	6,531 35.2%	5.10	
			Q7.【アクティブラーニング】	416 2.2%	450 2.4%	783 4.2%	2,322 12.5%	8,055 43.4%	6,540 35.2%	4.98	
Q9(4・3)	満足度の低い群	5,427	Q1.【学修時間】	1,812 33.4%	2,211 40.7%	852 15.7%	359 6.6%	117 2.2%	76 1.4%	2.08	-0.28
			Q2.【学修意欲】	75 1.4%	197 3.6%	964 17.8%	2,905 53.6%	1,059 19.5%	217 4.0%	3.98	-1.07
			Q3.【聴覚情報】	36 0.7%	213 3.9%	852 15.7%	2,825 52.2%	1,295 23.9%	190 3.5%	4.05	-1.21
			Q4.【視覚情報】	29 0.5%	191 3.5%	852 15.7%	2,976 55.0%	1,181 21.8%	183 3.4%	4.04	-1.24
			Q5.【理解度の把握】	71 1.3%	216 4.0%	632 11.7%	3,023 55.8%	1,246 23.0%	231 4.3%	4.08	-1.16
			Q6.【フィードバック】	122 2.3%	344 6.4%	808 14.9%	3,080 56.9%	922 17.0%	139 2.6%	3.88	-1.22
			Q7.【アクティブラーニング】	327 6.0%	411 7.6%	782 14.4%	2,808 51.8%	897 16.5%	198 3.7%	3.76	-1.22
Q9(2・1)	満足度の低い群	425	Q1.【学修時間】	220 51.8%	132 31.1%	41 9.6%	16 3.8%	3 0.7%	13 3.1%	1.80	-0.56
			Q2.【学修意欲】	69 16.2%	63 14.8%	105 24.7%	102 24.0%	66 15.5%	20 4.7%	3.22	-1.83
			Q3.【聴覚情報】	85 20.0%	128 30.1%	93 21.9%	68 16.0%	35 8.2%	16 3.8%	2.74	-2.53
			Q4.【視覚情報】	99 23.3%	139 32.8%	90 21.2%	62 14.6%	24 5.7%	10 2.4%	2.54	-2.74
			Q5.【理解度の把握】	124 29.2%	102 24.0%	74 17.4%	65 15.3%	47 11.1%	13 3.1%	2.64	-2.59
			Q6.【フィードバック】	135 31.8%	137 32.3%	71 16.7%	47 11.1%	27 6.4%	7 1.7%	2.33	-2.77
			Q7.【アクティブラーニング】	155 36.5%	97 22.8%	67 15.8%	59 13.9%	28 6.6%	19 4.5%	2.45	-2.53

表14 総合評価（満足度）と学生の学修態度および教授技量の関係（2024年度後期）

	計		6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差
			大変そう思う			まったくそう思わない				
Q9(6・5) 満足度の高い群	16,912	Q1.【学修時間】	3,163 18.7%	7,149 42.3%	3,149 18.6%	1,454 8.6%	822 4.9%	1,175 6.9%	2.59	
		Q2.【学修意欲】	62 0.4%	105 0.6%	434 2.6%	2,552 15.1%	8,001 47.3%	5,750 34.0%	5.10	
		Q3.【聴覚情報】	12 0.1%	41 0.2%	176 1.0%	1,455 8.6%	8,403 49.7%	6,808 40.3%	5.29	
		Q4.【視覚情報】	19 0.1%	31 0.2%	136 0.8%	1,465 8.7%	8,409 49.7%	6,844 40.5%	5.29	
		Q5.【理解度の把握】	45 0.3%	114 0.7%	179 1.1%	1,533 9.1%	8,280 49.0%	6,756 40.0%	5.26	
		Q6.【フィードバック】	40 0.2%	184 1.1%	291 1.7%	1,940 11.5%	8,191 48.4%	6,262 37.0%	5.18	
		Q7.【アクティブラーニング】	238 1.4%	335 2.0%	548 3.2%	1,967 11.6%	7,828 46.3%	5,995 35.5%	5.06	
Q9(4・3)	4,221	Q1.【学修時間】	1,265 30.0%	1,657 39.3%	751 17.8%	326 7.7%	126 3.0%	96 2.3%	2.21	-0.38
		Q2.【学修意欲】	66 1.6%	171 4.1%	711 16.8%	2,300 54.5%	791 18.7%	182 4.3%	3.98	-1.13
		Q3.【聴覚情報】	18 0.4%	129 3.1%	586 13.9%	2,363 56.1%	956 22.7%	159 3.8%	4.09	-1.20
		Q4.【視覚情報】	26 0.6%	115 2.7%	617 14.6%	2,423 57.4%	904 21.4%	135 3.2%	4.06	-1.23
		Q5.【理解度の把握】	41 1.0%	142 3.4%	482 11.4%	2,369 56.2%	1,009 23.9%	175 4.1%	4.11	-1.15
		Q6.【フィードバック】	56 1.3%	212 5.0%	584 13.8%	2,456 58.2%	787 18.6%	125 3.0%	3.97	-1.21
		Q7.【アクティブラーニング】	175 4.1%	276 6.5%	610 14.5%	2,264 53.7%	741 17.6%	153 3.6%	3.85	-1.21
Q9(2・1) 満足度の低い群	340	Q1.【学修時間】	149 43.8%	101 29.7%	50 14.7%	17 5.0%	9 2.6%	14 4.1%	2.05	-0.54
		Q2.【学修意欲】	64 18.8%	68 19.9%	65 19.1%	78 22.9%	47 13.8%	19 5.6%	3.10	-2.01
		Q3.【聴覚情報】	80 23.5%	88 25.8%	92 27.0%	39 11.4%	29 8.2%	14 4.1%	2.67	-2.61
		Q4.【視覚情報】	95 27.9%	107 31.4%	76 22.3%	38 11.1%	12 3.5%	13 3.8%	2.43	-2.87
		Q5.【理解度の把握】	96 28.2%	96 28.2%	49 14.4%	56 16.5%	27 7.9%	16 4.7%	2.62	-2.64
		Q6.【フィードバック】	120 35.2%	101 29.6%	33 9.7%	53 15.5%	25 7.3%	9 2.6%	2.38	-2.80
		Q7.【アクティブラーニング】	132 38.9%	95 28.0%	28 8.3%	42 12.4%	30 8.8%	12 3.5%	2.35	-2.71

表11および表13から、パフォーマンスの変化が小さい群（Q8が2または1の学生）では、「授業以外では学修していない（Q1＝選択肢1）」と回答した学生が半数以上にのぼっています。学修時間が少なければ、当然ながら学修効果も小さいという、ある意味で必然的な結果と考えられます。

一方、表11～14は項目数が多く比較しにくいいため、平均値のみを抜粋して整理したものが表15となります。

表15 パフォーマンスの変化と満足度に与える因子

	2024年度前期						2024年度後期					
	パフォーマンスの変化			満足度			パフォーマンスの変化			満足度		
	大きい	小さい	差	高い	低い	差	大きい	小さい	差	高い	低い	差
Q1.【学修時間】	2.37	1.61	-0.76	2.35	1.80	-0.56	2.60	1.97	-0.63	2.59	2.05	-0.54
Q2.【学修意欲】	5.05	2.95	-2.10	5.05	3.22	-1.83	5.10	2.87	-2.23	5.10	3.10	-2.01
Q3.【聴覚情報】	5.23	2.89	-2.34	5.26	2.74	-2.53	5.26	2.86	-2.40	5.29	2.67	-2.61
Q4.【視覚情報】	5.24	2.67	-2.57	5.28	2.54	-2.74	5.27	2.48	-2.78	5.29	2.43	-2.87
Q5.【理解度の把握】	5.22	2.59	-2.63	5.23	2.64	-2.59	5.25	2.55	-2.70	5.26	2.62	-2.64
Q6.【フィードバックの有無】	5.08	2.34	-2.74	5.10	2.33	-2.77	5.17	2.22	-2.95	5.18	2.38	-2.80
Q7.【アクティブ・ラーニング】	4.98	2.17	-2.80	4.98	2.45	-2.53	5.06	2.16	-2.90	5.06	2.35	-2.71

まず、学修時間（Q1）に着目すると、パフォーマンスの変化が大きい群と小さい群との平均値の差は、前期0.76、後期0.63。また、満足度の高低による差は、前期0.56、後期0.54となっており、他の設問項目と比較するとその差は比較的小さい傾向にあります。

本来、パフォーマンスの変化は学修時間の多寡に依存するものと考えられますが、学修時間の差がそれほど大きくなかった要因として、主に次の2点が考えられます。

（1）教員による授業の質の影響

Q2～Q7の回答傾向を見ると、パフォーマンスの変化が大きい群では、小さい群の2倍以上の得点が得られている項目が多数あります。これは、教員の授業に満足している学生ほど、授業中の理解度が高く、結果として自宅での学修時間が多くなくても効果的な学びにつながっている可能性を示しています。

（2）学生の意識と学修姿勢の違い

学生には「（授業90分＋授業外学修1時間）×15回＝1単位相当」という時間設定が説明されていると思われますが、学修への理解度が高く、意欲的な学生ほど集中力や効率的な学修によって短時間でも成果を上げられていると推察されます。

Q2（学修意欲）の得点差がQ1（学修時間）よりも大きい点からも、教員の指導力と学生の意欲が相乗効果を生んでいることがうかがえます。

教授授業（Q3～Q7）の各項目は、パフォーマンスの変化や満足度との関連性が特に強い結果となりました。中でもQ3（聴覚情報）、Q4（聴覚情報）は後期の差が大きくなっており、これは前期の学修内容を基礎として後期が構成されている教育課程の特性を反映していると考えられます。学修は積み上げが重要であるという理解を、1年次から学生に繰り返し伝えていく必要性があるといえます。

Q6（フィードバック）についても、パフォーマンスの変化との間に2倍以上の差が見られました。フィードバックは全学生に対して提供されていることと思いますが、この差は「学生の受け取り方」に起因しているのではないかと個人的に推察しています。すなわち、同じフィードバックを受けても、意欲が低い学生や理解が追いついていない学生にとっては、その効果が十分に発揮されないという状況が考えられます。対応しなければならぬ学生数が増えつつある現状を考えると難しいかもしれませんが、特に成績が伸び悩んでいる学生に対しては、個別に時間をかけて対応するなど、さらなる工夫が求められます。

Q7（アクティブ・ラーニングの機会）の設問内容は、「グループワーク、討議、プレゼンテーション、ミニッツペーパーなど、他者（教員・学生）に自分の考えや疑問を発信する機会があったかどうか」を問うものです。同じ授業を受けているにもかかわらず、パフォーマンスの大きい群と小さい群の間に2倍以上の差が出ているという事実は、やはり学生の受け取り方や意識の違いが大きいのではないかと考えられます。発言に対する不安や羞恥心が評価を下げる要因となっている可能性もあり、学生には「間違いを恐れず、自分の考えを言葉にすること」の重要性を教員が繰り返し伝えていく必要があります。

なお、自由記述欄については、近年記載数が減少傾向にあるとの指摘が寄せられています。これは、全授業が調査対象となったことで、学生にとって入力が煩雑に感じられる可能性があるためと考えられます。しかしながら、自由記述は学生の声を直接反映できる貴重な手段であるため、教員の皆様におかれましては、授業内で入力のための時間を確保していただくよう、ご協力をお願いいたします。



<まとめ>

2024年度は、新型コロナウイルスの影響がほとんどなくなり、通常の授業を実施できる環境が整いました。しかし、数年間にわたる遠隔授業の経験を通じて、双方向性を意識した授業の重要性や、その実践の難しさを実感された教員も多かったのではないのでしょうか。そうした経験が授業内容の構築に大きな影響を与え、その成果が2024年度の授業アンケート結果に反映されていると考えられます。

教員が担当する授業内容自体は大きく変わらないことが多いため、今後も本調査を継続的に実施し、数年分のデータを蓄積していくことが重要です。これにより、コロナ禍以降の各教員の取り組みの傾向を把握でき、それを踏まえた授業内容の再構築に役立つと期待されます。

FD委員会では、より良い授業の実現に向けて、授業アンケートに加え、授業参観ウィークや講演会、ワークショップ形式の研修会など、さまざまな取り組みを行っています。これらは教員自らの積極的な参加が不可欠です。まだ参加経験の少ない教員の皆さまには、ぜひ前向きにご参加いただきたいと存じます。そこから生まれる教員の声こそが、広島国際大学における教育の質をさらに高める原動力となります。

教職員が一丸となって、より充実した教育方法を模索していくためにも、今後ともFD活動への積極的なご協力をお願い申し上げます。